

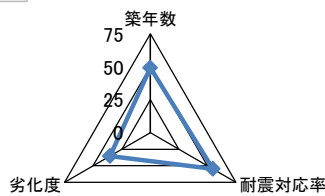
施設基本情報シート

平成28年度

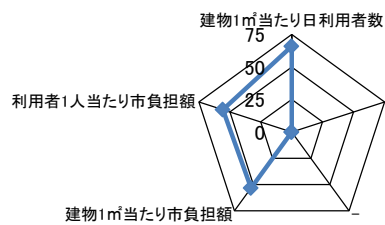
施設コード	433	施設用途別分類	文化施設							
施設名	讃岐国分寺跡史跡公園	利用圏域別分類	未設定							
施設所管課	文化財課	施設評価対象主管課	文化財課							
所在地(町名・番地)	国分寺町国分2011-1	財産区分	公共用財産(その他の施設)							
開設年月日	昭和29年3月29日	指定管理期間								
施設運営形態	直営(一部委託含む)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>外観</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>								
設置根拠法令	文化財保護法									
設置条例										
今後の改修計画等	当面は現状のまま存続する									
設置目的	讃岐国分寺は、天平13年(741)に聖武天皇が諸国に国分尼寺を造営するように命じたことによって建立された国営の寺院である。良好な保存状態等から、現在の四国霊場80番札所である国分寺を含む東西330m、南北240mが特別史跡として指定されている。国分寺境内には、金堂跡や塔跡の礎石が残り、現在の本堂には当時の講堂跡と考えられる礎石が使用されていることが確認されている。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>内部</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>								
用途地域			避難ビル指定	-	受入人数	0	人			
主な利用者	利用制限なし(主な利用者:一般)	避難所指定	-							
土地情報	土地面積	25,327.08 m ²		建物情報	総延床面積	916.00 m ²				
	内、市有地面積	25,327.08 m ²			階数(主たる建物)	地上1階				
	内、借地面積	0.00 m ²			構造(主たる建物)	鉄骨造				
利用情報	(区分・単位)	平成27年度		平成26年度		建築年(主たる建物)	昭和63年(1988年)			
		実績	前年比%	実績	前年比%	耐震対応(主たる建物)	対応済	所有状況	市有物件	
	開館日数(日)	266	73	365	100	貸付面積	0.00 m ²			
	延べ利用者数(人)	16,026	111	14,465	99	借家面積	0.00 m ²			
						未利用スペース	0 m ²			
収入	(区分・単位)	平成27年度		平成26年度		(区分・単位)	平成27年度		平成26年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	0		0	0	市の支出計⑨ (指定管理料除く)	1,745	110	1,590	102
	使用料(減免後)②	0		0	0	施設のコスト	1,745	110	1,590	102
	その他③	0		0	0	事業のコスト	0		0	
	指定管理者の収入計④	0		0	0	人に係るコスト	0		0	
	指定管理料⑤	0		0	0	指定管理者の支出計⑩	0		0	
	利用料金収入⑥	0		0	0	施設のコスト	0		0	
	自主事業収入	0		0	0	自主事業以外のコスト	0		0	
	その他収入	0		0	0	自主事業のコスト	0		0	
	《参考》 使用料減免額⑦	0		0	0	人に係るコスト	0		0	
	収入合計⑧	0		0	0	支出合計⑪	1,745	110	1,590	102
	使用料減免割合(% (⑦÷(①+⑥+⑦)))					工事請負費・修繕費	341	94	364	262
施設経営における実質的な 収入(⑧-⑤)	0		0	0	市(市民)負担額⑫ (⑨-①+⑤)	1,745	110	1,590	102	
指定管理者の収支差引 (④-⑩)	0		0	0	市(市民)負担割合(% (⑫÷①))	100	100	100	101	
利用1(人・戸・冊)当たりのコスト (①÷利用量(人・戸・冊))	109 円				利用1(人・戸・冊)当たり市負担額 (⑫÷利用量(人・戸・冊))	109 円				

施設コード	433	利用用途別分類	文化施設					
施設名	讃岐国分寺跡史跡公園	利用圏域別分類	未設定					
評価指標	一次評価	A:継続 (品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上)				B		
		B:改修・転用 (品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上)						
		C:用途変更・移転 (品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満)						
		D:廃止・統廃合 (品質:平均点未満、供給・財務:平均点未満)						
	品質評価の評価値(偏差値)	46.4						
供給評価の評価値(偏差値)	65.8							
財務評価の評価値(偏差値)	54.4							
品質評価	僧坊覆屋は築28年を経過しており、更新・修繕等を要する部位が多く、劣化が進んでいる。		評価指標		数値	偏差値	平均	
			築年数	28.0	年	49.2	27.0	年
			耐震対応率	1.0	率	54.8	0.8	率
			劣化度	82.5	点	35.3	38.5	点
			評価値			46.4		
供給評価	史跡の一部を保護している文化財保存施設であることから考えると、大幅な利用者増は見込めない。		評価指標		数値	偏差値	平均	
			建物1㎡当たり日利用者数	0.06577	人/日	65.8	0.02381	人/日
			-					
			-					
			評価値			65.8		
財務評価	同分類の施設と比較すると市の負担は少ないが、今後、入館料の徴収等を検討する必要がある。		評価指標		数値	偏差値	平均	
			建物1㎡当たり市負担額	1.9	千円	53.2	5.6	千円
			利用者1人当たり市負担額	0.1	千円	55.6	3.9	千円
			評価値			54.4		

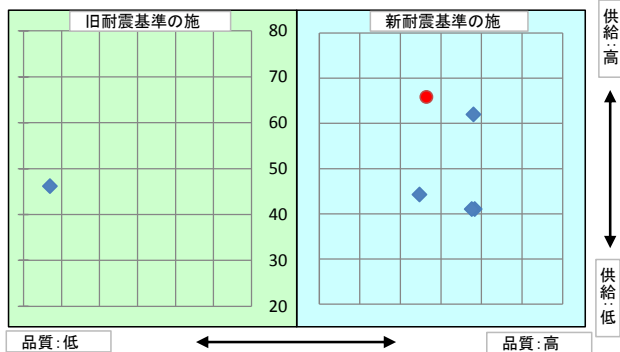
品質評価の分布図



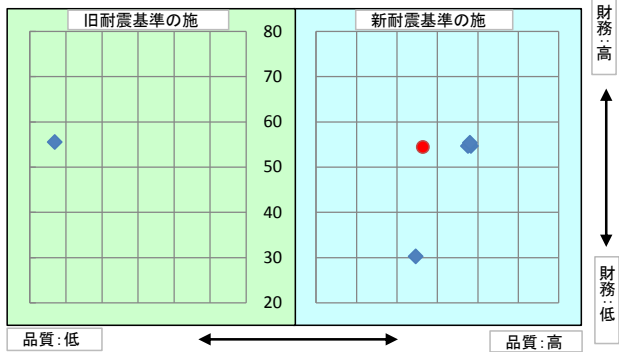
供給評価・財務評価の分布図



品質評価・供給評価のポートフォリオ



品質評価・財務評価のポートフォリオ



二次評価 (A: 継続 B: 改修・転用 C: 用途変更・移転 D: 廃止・統廃合)		A
評価の理由	僧坊跡の覆屋であり、移転不可な施設であることから、現在の場所で継続する必要があるため。	

二次評価に対する施設評価対象主管課の意見		
意見の理由	二次評価(案)を了とする。	
	<p>僧坊覆屋は、四国唯一の特別史跡讃岐国分寺跡で発掘された僧房跡を保存公開するために、文化庁の国庫補助を受けて設置したものである。発掘調査の結果、遺構の保存が極めて良いことが判明したことから、発掘当時の状態をそのまま保存公開するとともに、僧坊や僧侶の生活風景の一部を復元して、視覚的に遺構や讃岐国分寺を理解するための展示施設として建築されたものであり、市内の小中学校の歴史学習においても重要な施設である。</p> <p>なお、入館料の徴収等については、讃岐国分寺跡資料館から約200m離れた無人施設であるため、入館料徴収に係る人件費等の費用対効果を考えると困難である。</p> <p>以上を踏まえ、劣化部分の改修を行いながら、必要な施設として継続する。</p>	
地理的な特性や特別な事情など		
僧坊覆屋は、四国唯一の特別史跡である讃岐国分寺跡において、他の史跡では通常見ることができない発掘当時の状態が見学できる数少ない施設である。		

施設と評価の分析		
1	半径1km以内にある近隣の市有施設の有無。有の場合は施設名	国分児童館、讃岐国分寺跡資料館、如意輪寺公園、国分寺分団第3部消防屯所
2	半径5km以内にある市の同類施設の有無。有の場合は、施設名	高松国分寺ホール、讃岐国分寺跡資料館、文化財収蔵施設、国分寺図書館
3	半径5km以内にある国、県、民間等の同類施設の有無。有の場合は、施設名	無
4	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	JR国分駅から徒歩5分
5	目標使用年数	15年

有識者等の意見

特色のある史跡公園であり、また、移転等が困難であるため、今後も現施設を継続使用とする。

総合評価

施設

継続

機能

-

地域の歴史や文化等を保存・継承するため、適切な保全計画を策定し、計画的な修繕を行いながら継続使用する。

評価の理由

目標使用年数

15年

運営状況シート①(収支状況)

施設コード 433		利用用途別分類			文化施設				
施設名 讃岐国分寺跡史跡公園		利用圏域別分類			未設定				
区分		平成27年度	前年度比(%)	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
職員数	正職員		人						
	非常勤職員		人						
	臨時職員		人						
支出	①市の支出(指定管理料を除く)	2,086	千円	107.0	1,954	1,703	0	525	0
	施設に係るコスト	2,086	千円	107.0	1,954	1,703	0	525	0
	光熱水費		千円						
	工事請負費・修繕費	341	千円	94.0	364	139		525	
	土地・建物等の使用料・賃借料		千円						
	施設コスト:土地・建物以外のリース料		千円						
	施設・設備管理委託料	1,745	千円	110.0	1,590	1,564			
	その他		千円						
	事業運営に係るコスト	0	千円		0	0	0	0	0
	事業委託費		千円						
	事業物件費(需用費・役務費等)		千円						
	その他		千円						
	人に係るコスト	0	千円		0	0	0	0	0
	人件費		千円						
	②指定管理者の支出	0	千円		0	0	0	0	0
	施設に係るコスト	0	千円		0	0	0	0	0
	光熱水費		千円						
	工事請負費・修繕費		千円						
	土地・建物等の使用料・賃借料		千円						
	施設コスト:土地・建物以外のリース料		千円						
	施設・設備管理委託料		千円						
	その他		千円						
	事業運営に係るコスト(自主事業以外)	0	千円		0	0	0	0	0
	事業委託費		千円						
	事業物件費(需用費・役務費等)		千円						
	その他		千円						
	事業運営に係るコスト(自主事業分)	0	千円		0	0	0	0	0
	事業委託費		千円						
	事業物件費(需用費・役務費等)		千円						
	その他		千円						
人に係るコスト	0	千円		0	0	0	0	0	
人件費		千円							
③合計(①+②)	2,086	千円	107.0	1,954	1,703	0	525	0	
施設に係るコスト	2,086	千円	107.0	1,954	1,703	0	525	0	
光熱水費	0	千円		0	0	0	0	0	
工事請負費・修繕費	341	千円	94.0	364	139	0	525	0	
土地・建物等の使用料・賃借料	0	千円		0	0	0	0	0	
施設コスト:土地・建物以外のリース料	0	千円		0	0	0	0	0	
施設・設備管理委託料	1,745	千円	110.0	1,590	1,564	0	0	0	
その他	0	千円		0	0	0	0	0	
事業運営に係るコスト(指定管理者の自主事業以外)	0	千円		0	0	0	0	0	
事業委託費	0	千円		0	0	0	0	0	
事業物件費(需用費・役務費等)	0	千円		0	0	0	0	0	
その他	0	千円		0	0	0	0	0	
事業運営に係るコスト(指定管理者の自主事業分)	0	千円		0	0	0	0	0	
事業委託費	0	千円		0	0	0	0	0	
事業物件費(需用費・役務費等)	0	千円		0	0	0	0	0	
その他	0	千円		0	0	0	0	0	
人に係るコスト	0	千円		0	0	0	0	0	
人件費	0	千円		0	0	0	0	0	
収入	④合計(⑤+⑥)	0	千円		0	8	8	8	0
	⑤市の収入(市の歳入に計上するもの)	0	千円		0	8	8	8	0
	使用料(減免後)		千円						
	財産貸付料収入・目的外使用料収入		千円			8	8	8	
	負担金		千円						
	その他の収入		千円						
	⑥指定管理者の収入(市の歳入に計上しないもの)	0	千円		0	0	0	0	0
	⑦指定管理料		千円						
	利用料金収入		千円						
	自主事業収入		千円						
その他の収入		千円							
※使用料の減免額		千円							
収支(④-③)		▲ 2,086		107.0	▲ 1,954	▲ 1,695	8	▲ 517	0
市負担額⑧(①-⑤+⑦)		2,086	千円	107.0	1,954	1,695	▲ 8	517	0
市負担割合(⑧÷③)		100	%	100.0	100	100		98	